



定住人口の増加と活力あるまちづくり

新たなステージへ



第5次総合計画の重点プロジェクトとして計画的に進めてきたJR海老津駅南側道路等整備事業は、昨年の12月に駅南側広場、自由通路、海老津白谷線道路が完成。3月には、岡垣交番も駅前へ移転し、駅や周辺地域の利便性・安全性が向上しました。そのほか「観光ステーション北斗七星」うさぎ坂55団地」など、将来に向けた基

これまでに整備した施設や環境を最大限に生かして

3月定例議会で、宮内町長が平成29年度の施政方針を発表。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と平成29年度予算を紹介します。

宮内町政

平成29年度
施政方針・当初予算

「住みたい・住み続けたい みんなが輝く元気なまち 岡垣」の実現

新たなステージへ

平成 29 年度からは、今までに整備してきた施設や環境を最大限に生かしたまちづくりに向けた取り組みを展開します。

主な取り組み

▶ 住環境の整備

- 民間事業者による宅地開発の促進
- 定住促進対策
- 空き家対策
- 地域情報伝達無線システム「でんたつくん」の整備

▶ 少子化対策

- 保育所の待機児童対策
- 学童保育所の充実
- 子育て世帯に対する経済的支援

これまでの取り組み

JR海老津駅南側道路等整備事業を始めとした定住人口の増加と活力あるまちづくりに向けた基盤整備に取り組みました。

主な取り組み

- JR海老津駅南側広場や自由通路、海老津白谷線道路の整備
- 岡垣交番の移転
- 観光ステーション北斗七星の整備
- うさぎ坂 55 団地の整備
- 情報プラザ人の駅 Book 座 Café のオープン
- 民間保育所施設整備の支援
- 山田第三学童保育所の整備

定住人口の増加に向けた 住環境の整備

地域情報伝達無線システム「でんたつくん」の整備を進め、住民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。また、民間事業者による宅地開発の促進や定住促進・空き家対策事業など

盤整備に取り組んできました。平成 29 年度は、これらの施設や環境を最大限に生かし、定住人口の増加と活力あるまちづくりに向けた、新たなステージへと展開します。



人口維持の鍵となる 子育て支援を重点的に

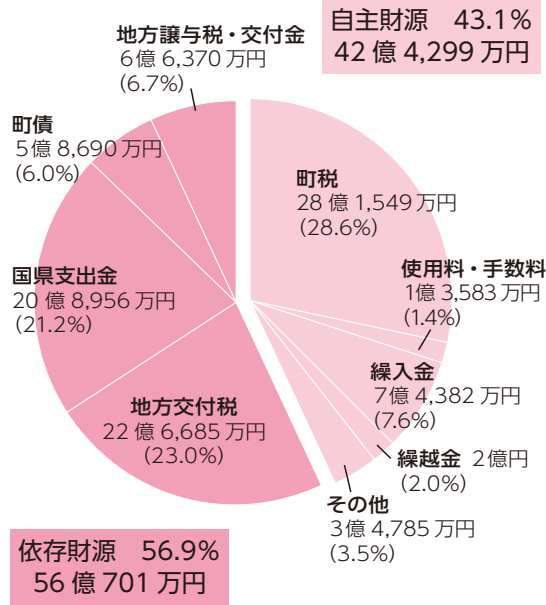
深刻な人口減少への対応は、少子化対策が重要であると認識しています。このため、こども未来課に新たな係を設置し、少子化対策を総合的に進めます。また、子ども医療費の拡充や子どものインフルエンザ予防接種補助、民間保育所の定員拡大に向けた支援、学童保育施設の定員を増やすことなどを行い、子育て世帯の支援を重点的に進めます。

将来を見据えた行政経営を 行います

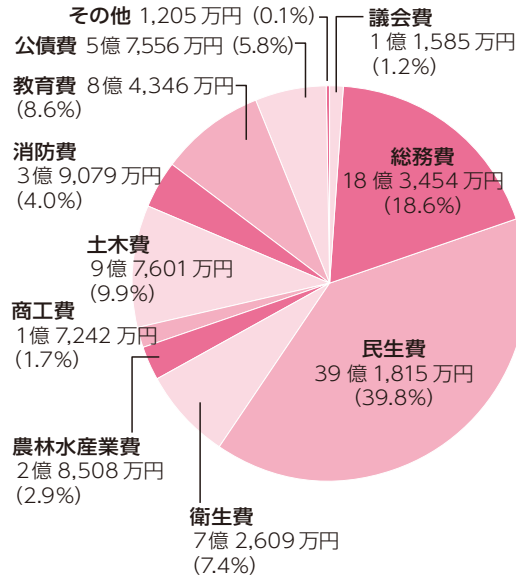
今後、人口減少や少子高齢化、地方創生時代の到来などの社会・経済情勢の変化により、公債費や介護保険、障害・児童福祉サービスなどの扶助費、公共施設の老朽化対策費などの増加が見込まれます。このほか、さまざまな課題が山積していますが「今できること、今しかできないこと、今しなければならぬこと」を常に意識し、まちづくりに取り組めます。

一般会計予算は98億5千万円

歳入



歳出



前年度予算から1億 6,600万円 (1.7%) の増加

【主な増減の内訳】

町税 町民税や固定資産税などの増加を見込み、前年度より3927万円 (1.4パーセント) 増加しています。

地方交付税 国の計画や平成28年度状況を踏まえ、前年度より1億1895万円 (5.0パーセント) 減少しています。

町債 JR海老津駅南側広場や自由通路、海老

津白谷線道路の整備が完了したため、前年度より9140万円 (13.5パーセント) 減少しています。

地方譲与税・交付金 地方消費税交付金が前年度と同額の4億8千万円となっています。平成26年4月からの消費税率引上げ分は、子ども医療費などの社会保障財源として活用します。

【主な増減の内訳】

総務費 地域情報伝達無線システム「でんたつくん」の整備に関する経費が増加したことから、前年度より2億7842万円 (17.9パーセント) 増加しています。

民生費 後期高齢者医療や介護保険などの経費が増加したことから、前年度より1億4291万円 (3.8パーセント) 増加

しています。

土木費 JR海老津駅南側広場や自由通路、海老津白谷線道路の整備が完了したことなどから、前年度より3億884万円 (24.0パーセント) 減少しています。

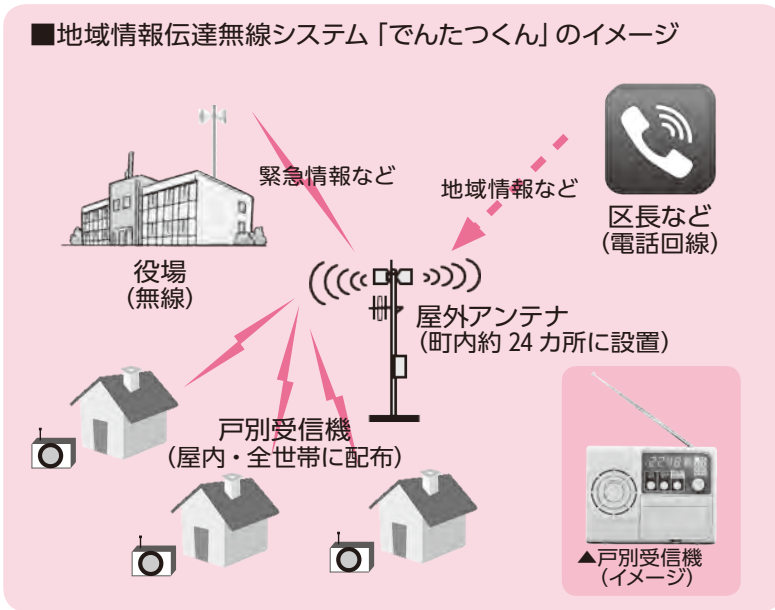
公債費 臨時財政対策債などの返済費が増加していることから、前年度より5429万円 (10.4パーセント) 増加しています。

その他の会計

会計名	予算額
国民健康保険事業	44億 6,968万円
後期高齢者医療	5億 9,369万円
住宅新築資金等貸付事業	79万円

会計名	予算額	
水道事業	収益的収入	5億 1,566万円
	収益的支出	5億 226万円
	資本的収入	1億 4,781万円
下水道事業	資本的支出	3億 4,970万円
	収益的収入	10億 1,882万円
	収益的支出	9億 3,681万円
	資本的収入	6億 659万円
	資本的支出	9億 9,512万円

■地域情報伝達無線システム「でんたつくん」のイメージ



3億 4,959 万円

安全安心なまちづくりを行うため、緊急時の情報伝達をスムーズにし、防災・地域情報などを各世帯が無線を使って受信できるシステムの導入を引き続き進めます。

平成 29 年度は、各世帯への戸別受信機の設置を計画的に行います。平成 31 年度までに全世帯に配布する予定です。

安心
地域情報伝達無線システム
「でんたつくん」の整備

町の将来像の
実現に向けての

平成 29 年度の主な取り組みを紹介



安心 定住促進対策

4,396 万円

定住奨励金や中古住宅購入補助などの制度を一部見直し、継続して取り組みます。また、町外への移住・定住イベントで情報を発信し、定住人口増加の取り組みを進めます。



輝き 観光の推進

5,617 万円

岡垣町観光協会と連携し「観光ステーション北斗七星」を拠点に、町の魅力を生かしたイベントの展開や観光情報の発信、観光ツアーや観光客の誘致などを行い、交流人口の増加を図ります。



輝き 森林保全対策

1,217 万円

三里松原を守る取り組みとして、松の植樹や保全などを継続して行います。森林の保全は、戸切地域内の町有林の整備や金毘羅山の維持管理、森林保全団体への支援を進めます。

各取り組みが、第5次総合計画の「まちの将来像」のどの分野に当てはまるかを、右のアイコンで示しています。

輝き 輝き

安心 安全安心

心の豊かさ 心の豊かさ

計画の推進 計画の推進



安 安全 安心 コミュニティバスの
運行など

6,557万円

コミュニティバス路線の再編として、JR海老津駅南側広場への乗り入れを含む路線の見直しを3月に行いました。今後も公共交通の維持に努めます。



1億329万円

定住人口の増加と活力あるまちづくりに向け、JR海老津駅南側開発区域のうち、先行して開発することを想定していたJR鹿兒島本線北側から旧国道3号までの区域で、民間事業者が行う優良な宅地開発に対して奨励金を交付します。



民間事業者による
宅地開発の促進

今できること。今しかできないこと。
今しなければならぬことを見極め
着実に取り組みを進めます。



民間保育所
施設整備の支援

6,613万円

施設の老朽化により、平成28年度から整備が進められている岡垣東部保育所の建て替えを補助し、保育環境の整備を図ります。完成予定は平成29年秋。入所定員が拡大される予定です。



安 安全 安心 認知症予防の推進

570万円

認知症地域支援推進員と初期集中支援チームを新たに設置し、認知症の相談体制拡充と初期対応の充実を図ります。また、認知症カフェへの助成などに取り組みます。

そのほかの取り組み

輝き

- 環境啓発・人材育成事業 171 万円
- 地下水ブランド化の研究 1,000 万円
- ため池・農業用水路の整備 2,353 万円
- 漁業の振興 451 万円
- 企業誘致の推進 658 万円 など

安心

- 道路環境の整備 2億 1,434 万円
- 空き家対策 548 万円
- 自立支援サービスの実施 5億 4,971 万円
- 介護保険事業の実施 6億 808 万円 など

心の豊かさ

- こども未来館の運営 3,170 万円
- 小中学校の施設整備 8,838 万円
- 岡垣サンリーアイの運営 2億 8,821 万円
- 公民館講座の実施 495 万円 など

計画の推進

- コミュニティ活動の推進 2,620 万円
- ボランティアセンターの運営 744 万円
- 行政改革の推進 160 万円 など



子ども医療費などの支援

1億 4,338 万円

通院医療費の助成を中学3年生まで拡大し、子育て世帯の医療費の負担軽減を図ります。また、1歳～中学3年生が受ける季節性インフルエンザの予防接種にかかる費用を一部助成し、発症や重症化の抑制を図ります。



学童保育所の管理運営

6,057 万円

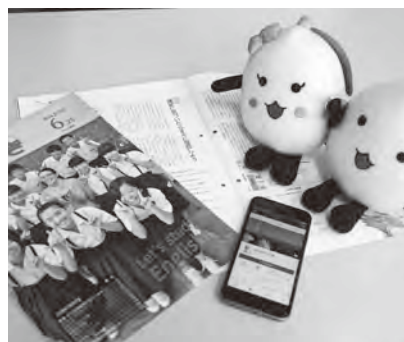
4月1日に新たに「山田第三学童保育所」を開設し、受入児童数を拡大しました。今後も各学童保育所で児童の健全な育成に向けた取り組みを進めます。



英語教育改革の推進

1,351 万円

外国語指導助手による授業を中学校、小学校高学年に行います。また、英語教育アドバイザーの安河内哲也さんの助言を受け「岡垣町英語教育改革イニシアティブ2016」を着実に進めます。



広報広聴活動の推進

1,461 万円

広報おかがきをはじめ、ホームページや SNS、イメージキャラクターなどさまざまな媒体を活用し、町の情報や魅力を発信します。また、平成 29 年度は、町勢要覧とあわせ、町の PR 動画を作成します。